



発行責任者 久敬  
 主教 磯高地 晴  
 主 大阪教区事務所  
 06-6621-2179  
 京都教区事務所  
 075-431-7204  
 通算号数  
 大阪489号、京都749号

# 宣教のパートナーとして

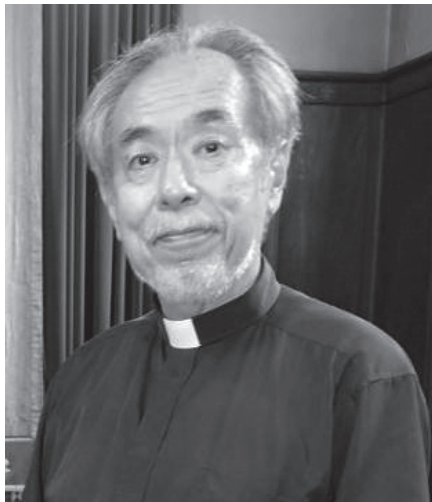
司祭 クレメント 大岡 創

私たち信仰を持つ者は誰であれ、何らかの仕方や方法で神様の愛を伝えていく使命が与えられています。

福音書の中でイエスさまが宣教にあたって何が大切かを示しておられます。最初にイエスさまは弟子たちに履物と杖以外は何も持っていないように命じられます。必要なものは神様が計らってくださいということなのでしょう。ひたすら神様の喜びを伝えることに専念し、神様への信頼の心を示すことが期待されたのです。かつて男子修道院を訪ねたことがありました。鞆ひとつで何時でも出掛けられる姿を目の当たりにし、彼らの働きに、この精神が受け継がれていることを感じました。

イエスさまは弟子たちを派遣するにあたり二人ずつ組みにして互いのパートナーとして遣わされました。二人とい

うのは、助け合える反面、ときに煩わしさを伴います。自分の思うままにすることはできません。絶えず相手との相談の中で、決定し成し遂げていくこととなります。互いに助け合うこと以上に切磋琢磨することがある、それが互いに強められ励まされることになるのです。



## 8月号の紙面

- 大阪教区婦人会／教会とセクシユアル・マイノリティ ②
- OK委員会だより／主教コラム ③
- 関連学校紹介／出席管理についてのご紹介 ④
- 常置委員会・局長会議報告 ⑤
- 教会紹介／諸記念／主教巡回予定 ⑥

そしてイエスさまは「汚れた霊を追い出す権能を授けられました。」人々を敵対させたり、臆病にさせたり、敵意を抱かせたりする霊こそが、神様の愛を妨げるもの、汚れた霊です。その汚れた霊を追い出し、愛によって仕え合う共同体を作ることがイエスさま

の宣教の目的であつたのです。私たちは一人では宣教できません。互いに助け合つて生きる中で、宣教の使命を果たすことができるのです。この秋には、一つの判断をすることになる京都・大阪教区ですが、これまで両教区は宣教の協働者・パートナーとして歩んで参りました。

た。それは自らの不足を補うためのパートナーではなく、神様の宣教に仕えるための協働であることを忘れてはなりません。

『わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。：わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです』

(Iコリ3:6-7,9)

イエスさまを真ん中に、私たちの教会・教区という共同体が相互作用することによって、さらに深められ、豊かなものとなっていきますように。これからもイエスさまの示された神様の愛を求め続けたいことができますように、導きを祈りましょう。

(聖アグネス教会、  
京都聖三一教会牧師)

## 「ピンクの封筒」

「ピンクの封筒」  
 会に來られない方々に、主日礼拝の説教を少しだけ書いてお便りとしていました。そのうち、韓先生の説教が心に響いて入って來ました。少しの説教内容ではもったいないと思ひ、先生に原稿を頂くことにしました。私は沢山の方々に送れるように「コピーをしたらどうですか」と言いました。先生は「印刷したコピーは読まないでしょう。あなたが自筆で書くから読まれるのでは」と言われました。韓先生のお話を聞くようになって、聖霊様のことを意識するようになりました。週一回の説教を書かせてもらうことは、聖霊様によって書かせて頂いていると思ひました。自分にとつての学びであり、信仰を育ててもらつておると思ひます。お出しして下さる方々も、韓先生の説教を繰り返し読まれておると聞いています。いつも「ピンクの封筒」でお出しするのですが、この「ピンクの封筒」も待つて下さっていると聞いています。

(高槻聖マリヤ教会  
高橋 敏子)

# 大阪教区婦人会第97回総会

梅雨明け近い7月13日(火)

川口基督教会会館3階にて大阪教区婦人会2021年第97回総会が開催されました。この日は礼拝堂ではプール学院の生徒の礼拝が同時刻に行われていて、地下鉄の改札口や教会への道では若い声が響き、教会の未来に繋がればと思いつながりながら向かいました。

昇天日に開催予定でしたが、コロナ禍で延期が続きましたが、新旧代表者のみの出席者で行いました。内田望司(うちだのぞむ)司祭が2019年5月〜2021年4月の2年間に逝去された方々のお名前を読み上げて魂の平安をお祈りし、審議に入りました。諸報告の後、議案審議に入り、議案第1号、第2号、第3号と会計に関する3つの議案の後、第4号議案(2024年)記念式準備委員会立上げに関する件も採決されました。

昼食をはさんで、新旧代表



（大阪教区婦人会会長）鈴木久美子

者が開かれ、諸報告の後、旧代表者を解散、第1回新代表者を開催し、役員、委員を選出しました。教区婦人会に代表者を送り出せない教会も増える中、婦人会がどのように変化していくのか不安もありますが、内田司祭が「神の恵みを受け取る近道は、まっすぐであること」と、お話しくださった言葉を支えに皆さんと3年間を歩みたいと思います。

## オンライン研修会「教会とセクシユアル・マイノリティ」これだけは知ってほしい

7月19日(月) 19時、講師に、寺田留架さん(約東の虹ミニストリー代表)と川口弾さん(研究者、神学・クイア理論)をお迎えして、遠くはニューヨークから、また他

教派の方を含め90名超の参加者と共に「教会とセクシユアル・マイノリティ」これだけは知ってほしい(主催:管区女性デスク、正義と平和ジェンダープロジェクト)がオンラインで開催されました。

第一部では、講師の二人のパーソナルストーリーが語られました。短い時間では語りきれない物語であることを想像するのですが、信仰は常に進行形であり、進化してい

大阪教区婦人会 秋の修養会  
 日時: 2021年10月18日(月)  
 午後1時から  
 会場: 石橋聖トマス教会  
 講師: 畑野研太郎氏  
 (芦屋聖マルコ教会信徒)  
 「気がつけば、共に歩きたもう主」

くものであることを深く感じさせられました。第2部のトークセッションの中で、セクシユアル・マイノリティの人が、牧師に自分のセクシユアリティについて打ち明けた時に、●礼拝出席や献金は今まで通りしても良いが、賛美チームなど、聖なる奉仕には参加してはいけない●セクシユアリティを治すためのプログラムを受けなさい●うちの教会では受け入れることは難しい、他の教会を探しなさい、このようなことを言われた例が挙げられました。これらの発言は、セクシユアリティの多様性についての知識に欠け、性別には男と女しかない、また人間は異性に性的指向が向くものという固定観念によるものです。だから、それにあてはまらない場合は「治るべき」対象とされてしまふ現実があること、また聖書にある人間創造の物語からも「男と女に造られた」「互いにひかれあうもの」という規範があり、その規範から外れるものは居ないものとさ

れ、排除されてしまうということが起きるのだ、と指摘されました。セクシユアル・マイノリティの人に「治せ」とか「変えろ」というのは、鳥だけけれど空を飛べないペンギンに「空を飛べ」ということと同じであるという例は非常に印象的で、それはその人の存在そのもの、本来のありようを否定することと同様であればなりません。他にも、キリスト教のもつ結婚観、聖書理解についてもたくさん示唆を与えられましたが、紙面の都合上ここで紹介できないのが残念です。教会では『どなたでもお越しください』と看板が掲げられていながら、本当に誰でも歓迎され安心してきる場所になつていないでしょうか? 見えないトゲがあり、誰かを傷つけているということがないでしょうか? わたしたちが勝手につくりだしている規範や思い込みによって排除されている人がいるという現実を受け止めて、これから学び新たにされていきたいと思ひます。

(管区女性デスク) 司祭 大岡左代子

# OK委員会だより すべては主のみ手の中に

2012年から始まった「大阪教区と京都教区の協働及び合併に関する検討委員会」に加わって以来、「推進」「運営」と、この協働・合併プロジェクトに関する委員会全てに関わらせて頂き、早いもので9年が過ぎました。委員になってしばらくした頃、この合併に関する課題は京都・大阪両教区の未来はもろんのこと、日本聖公会全体の未来にもつながっているのではないかと気づき、身の引き締まる思いがしたことを憶えています。

これまでを振り返ると、最初の頃は明るい未来を語り合い、たやすく合併が実現できるのではないかと、個人的には思いました。しかし財政面をはじめ、実際のさまざまな難しい課題を協議する中で、次第に委員会のトーンが重々しくなっていたのは正直なところでした。それらの課題をひとつひとつ受け止め、真剣に協議する中で、この合併に関するプロジェクトは確信に

満ちたものとなっていると感じます。

この9年間、たくさんの豊かな実りがありました。特に子ども達・青年達は教区の垣根を超えて活発に交流しています。その姿に希望を感じ、励まされる思いがします。その他、合同礼拝、委員会の協働や合同、一日人事交流など。合併を視野に入れた協働の中で、これらの実りは生まれました。

一方、まだ今なお取り組むべき課題があるのは事実です。総論賛成・各論反対の呼声、心配のお声も聞こえてきます。そのようなハードルを前に、私自身がいつも立ち帰るのは、教区や教会の合併は、すべて主のみ手の中にあり、祈りつつ進められているという、その一点です。企業の合併とはまた違います。お互いの違いを認め、尊重し、ともに祈り合うことが、今、切に求められています。さて、京都教区と大阪教区をつなぐ力強い絆として、

ウイリアムズ主教の足跡があります。ウイリアムズ主教の宣教の始めは大阪の川口基督教会で、宣教のしめくくりは京都聖ヨハネ教会です。また京都にはウイリアムズ主教の名を冠した神学校があります。ウイリアムズ主教の宣教の旅は両教区の宣教の旅とながっています。また昔の教役者の方々が京都と大阪をまたぐ宣教活動を行われ、毎月の両教区レクイエムでは、共通の教役者の方々を憶えて祈っています。これらの歴史的な深いつながりが、両教区の土台にあります。大先輩たちから受け継いだ信仰のバトンを次の世代に渡すためにはどうしたらよいか、ますます希望に満ちた信仰共同体となるためにはどうしたらよいか。祈り求めたいと思えます。

(川口基督教会 辻 彩乃)



## 羊だより

### 「祈りの内に」

新型コロナウイルス禍の下ではありましたが、教会巡回を行って来ました。教役者と教役者の家族や信徒・求道者の状況を確認するためと、京都教区との合併という課題についてアピールし、質問や意見、アイデアを頂くためでした。巡回する時、よく感じることはありません。私自身のために巡回させて頂いているということ。代祷の中で「主教アンデレ」とお祈りして頂くことはもちろんですが、信徒の皆さんから体の心配、励ましなど頂くことの方が多いと感じます。

先日もこのようなことがありました。京都教区との合併についてお話をした後、質疑応答の中で、S兄が次のようなお話をしてくださいました。内容をできるだけ改変しないように、「私は京都教区と大阪教区の合併の話し合いの前から、日本聖公会の教区制の問題に取り組んできました。大体総論OKでしたが、各論で壁におつかってききました。私は今賛成か反対かと言う判断はできません。お祈り

で始まったことですから、お祈りの内に結果は明らかになるでしょう。その結果に肅々と従いたいと考えています。今説教台に小池俊男主教(大阪教区第3代主教)がおられたら、何と仰るかを思いめぐらしながらお話をしています。皆さまにすべてをゆだねて、祈っていききたい」という趣旨のお話をしてくださいました。私の心にしみ込んでくるお話でした。両教区特別協働教区運営委員の皆さまは、本当に一生懸命取り組んで下さっていますので、何とかして、私の主教在位中に実現したいという思いばかりで歩んできたのですが、原点をお忘れではないかというご指摘を頂いた気が致しました。「お祈りで始まったことですから、お祈りの内に、皆さまは明らかにしてくださいませう。：：：皆さまにすべてをゆだねて：：：」原点に帰りなさいと言う神さまからの指し示しとして聴きました。大阪教区の皆様、京都教区の皆様、原点に帰ってお祈りしましょう。「神さまの御心が明らかになるように、日々の祈りの中で、憶えてお祈りください。」

(主教 磯 晴久)

# 学校紹介 桃山学院中学校・高等学校

1878年、英国CMSの宣教師C.F.ワレン師らの宣教師活動によって川口居留地に「聖三一教会」が誕生しました。当時、近くには永生女学校（現在のプール学院）があり、そこで信徒子弟の男子も学ぶことが許されていました。1884年、男女が机を並べることが認められなくなったため、宣教師たちは聖三一教会の一室を使って男子のための学校を開校しました。この学校が「聖三一小学校」(Holy Trinity School)と呼ばれ、桃山学院の源流とされています。

1890年になると西区江戸堀に高等英学校が開校し、それが翌年には天王寺区筆ヶ崎に移転し寄宿舎付きの学校となりました。この辺りは当時「桃山」と呼ばれ、桃の木がたくさん生えている丘陵地になっていたことから、校名も「私立桃山中学校」と名付けられました。校名の由来はここにあります。

その後、1912年に阿倍野区昭和町に移転し、

2021年9月には創立137年を迎えます。創立以来、長く男子校として知られてきましたが、2001年には国際コースを設置したことをきっかけに女子生徒を迎え入れ、男女共学校となりました。2008年には桃山学院中学校も開校し、中学生約360人、高校生約2000人、教職員約200人が毎日昭和町の学舎に通っています。

どの学校にも共通したことだと思えますが、時代の変化によって受験生や保護者、また社会から学校に求められるニーズも大きく変わり、本校もかつての男子校時代のような自由さ、おらかさはもはや持ち得なくなりました。しかしそれでも受験生や生徒たち・塾関係者からは「自由な校風の伝統校」、「ソフトな進学校」というイメージが定着しており、学校としても、長年積み上げられたこれらの良きイメージは今後も失わないように願ひながら教育活動を行っています。

生徒と教員の校内での礼拝



活動から誕生した「大阪聖アンデレ教会」は、地域教会としての役割と共に学校礼拝堂としての機能も併せ持ち、主日礼拝以外に学校の授業や礼拝にも用いられています。

教区教会の皆さまには、本校生徒たちが主日礼拝に参加させていただく際、あたたかくお迎えくださりありがとうございます。生徒の感想文から、彼らが見たいへんよい経験をさせていたただいていることがわかります。紙面をお借りして感謝を申し上げます。

(桃山学院中学校・高等学校  
チャプレン 司祭 義平 雅夫)

現在富山聖マリア教会の礼拝出席簿は、パソコンで管理しています。

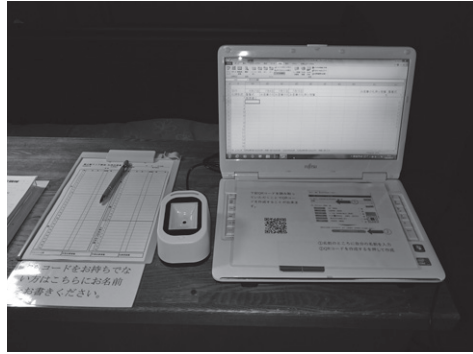
教会員一人一人に「教会員証」なるカードを配り、そこに記載されているQRコードを「ピッ」と読み込ませるだけで、パソコンのエクセルに名前が表示されるようになっています。

これはコロナが流行り出した時に、物の共有、特にペンの使い回しなどを避けるために考案したのが始まりです。

最初教会員証を作るのに時間はかかりますが、集計はパソコンが自動でやってくれるようになるので、便利です。

教会員証が無い方でも、自分の名前が入ったQRコードをスマホなどで作れば、使うことが可能です。手書きでの出席簿も併用し、初めての方などが来られた時などは、そちらに名前が書けるようになっています。

初期投資は約5,000円。QRコードリーダーと教会員証用の紙を購入しただけです。パソコンは以前に私が



使っていたものを使っています。

集計に関して、特に難しい関数を使っているわけではないので、パソコンに少し詳しい方なら使えると思います。皆さんの教会でもいかがでしょうか。

(司祭 柳原 健之)

京都教区

【常置委員会報告】 7/27

1. 報告事項

▼主教報告

●8月4日におこなわれる比叡山(延暦寺)での「世界平和祈りの集い」に大岡左代子司祭と古本靖久司祭が参加する。

▼常置委員長報告

●8月3日におこなわれる大阪教区との合同常置委員会懇談会の準備の話し合いを、7月22日におこなった。

▼特別財産運営委員会

●収益事業の土地利用業者の第2次選考の日程について、報告があった。第2次選考に進んだ業者のプレゼンテーションには、常置委員と特財委員が参加する。

▼特別協働教区運営委員会

●合併に向けてのポスターが各教会に送られた。

●合併に向けての祈りを作成し、両教区主教、OK運営委員会名で各教会に送付した。

▼京都事件・体質改善関係  
●検証報告書作成作業の経過報告を受けた。

▼「中日本宣教協働区」協働委員会

大阪教区

【常置委員会報告】 7/7 9時 第10回 臨時

●ヒューム執事の司祭試験について協議した。

7/21 第10回例

I. 主教報告及び諸報告

●教区成立百周年準備委員会が7月16日に開かれ、記念合同礼拝、記念誌発行、事前アンケート調査を主な事業とする。

●7月19日オンライン開催の教役者会の報告があった。

【コロナ関連対応について】

●現在出されている主教メッ

セージの注意事項を継続する。

●礼拝・音楽委員会がアンケートの集約を行っている。

【宣教局】夏の小学生キャンプは中止、J's キャンプについては北小松で実施するが、大阪からはオンラインで参加とする。

【財政局】会計委員懇談会を昨年同様9月23日(木)川口基督教会で開催する。

【総務局】ミャンマー支援のための献金(聖霊降臨日信施)を「カリタスジャパン」へ送金した。

●宮本憲神学生を囲む集いは、8月30日(月)芦屋聖

●7月27日に第3回委員会をおこない、各教区の課題を共有し研修プログラムなどについて協議した。

2. 協議事項

●2021年の教区成立記念日信施の奉献先を、ミャンマー奨学友の会とした。

●麓敦子司祭が8月1日付で復職することについて同意した。

●奈良基督教会信徒、松本誠さん、松矢孔二さんの信徒奉事者推薦書が提出され推挙した。また分餐奉仕の許可について同意した。

●教区合併議案提出に関わる

マルコ教会で神学生後援会理事のみの出席で開催する。

【OK運営委員会】各教会での主日礼拝の代祷で用いる「合併のための祈り」を両主教が作成。教区会の百日前から祈りを始める。

II. 協議事項及び主教諮問

●8月3日の京都との合同常置委員会懇談会の事前準備を7月22日に大阪で行う

●今年度の教区会書記を選出した。小林聡司祭、古澤秀利司祭。

●宮本憲教区神学生の夏期実習について協議した。

●大阪聖三一教会建替えに関

諸課題について協議した。

●8月1日付で麓敦子司祭を主教座聖堂付、京都聖ヨハネ教会礼拝協力とすることについて、可と答申した。

●井田泉司祭の聖アグネス国際会衆担当嘱託の任を解くことについて可と答申した。(文責・常置委員会書記)

1. 総務局報告

▼【局長会議報告】 7/30

▼宗教法人規則変更(役員の欠格)の作業が完了した。

▼宗教法人「日本聖公会京都

して管区への建築金融資金の申請書類を確認し承認した。

●大阪聖アンデレ教会から出された教区墓地埋葬申請を承認した。

●川口基督教会の大阪府への補助金申請を承認した。

●教会支援委員会(ハラスメント委員会)のあり方について協議した。

●聖公会生野センター30周年のための準備委員会が武藤謙一首座主教の下に招集された。内容について協議。

●連合男子会、教区婦人会、GFSの各宣教グループの動向について確認した。

「教区」は8月1日付で京都府から文化庁に所轄庁が変更となる。

2. 宣教局報告

▼7月15日に礼拝部会は大坂教区礼拝・音楽委員会との合同会議(オンライン)を行った。

3. 財政局報告

▼2021年度教区経常費収支月次報告(6月30日)

4. 協議事項

▼京都教区省エネルギー融資・補助制度利用申請があり審査の結果、可とした。(文責・局長会議書記)

大阪教区教役者、信徒の皆様へ  
大阪教区合同埋葬式のご案内

日時：2021年11月6日(土)14時より  
場所：大阪霊園  
(大東市龍間331 TEL 0120-69-1117)  
申請締切り：9月末  
お問い合わせは大阪教区事務所 太田まで

教会紹介 大阪編

大阪城南キリスト教会

大阪城南キリスト教会の歴史は、川口居留地に建てられた聖三一教会内の男子校から始まり、学校のみ移転し、高等英学校と改称され、校内で行われていた主日礼拝を近隣の方とともにささげ、1894年に伝道所城南聖公会設立へと至ります。



その後教会堂を新築して大阪城南キリスト教会と改称、高等英学校は桃山中学校と改称しました。

1945年6月15日の大阪大空襲で礼拝堂を焼失した後、新教会堂を建設し、増築・改築を重ねて現教会堂に至ります。

鶴橋駅から徒歩5分という立地は京阪神、奈良、三重、名古屋を結びます。この地において神さまのみ心のままに用いられることを願ってやみません。



(司祭 成岡 宏晃)

京都教区関係逝去教役者 9月記念聖餐式

9月15日(水) 10:30~

- 4日 司祭 菅 寅吉 (1937年)
執事 ラザロ 布施 好古 (1938年)
6日 主教 ヨハネ 名出 保太郎 (1945年)
9日 司祭 J.J.チャップマン (1946年)
14日 司祭 ダニエル 大岡 義明 (2020年)
19日 司祭 アンデレ 野々目 晃三 (2018年)
22日 司祭 マタイ 巽 芳三郎 (1969年)
23日 主教 ペテロ 柳原 貞次郎 (1973年)
25日 司祭 田中 正之助 (1927年)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第3水曜日午前10時30分から、聖アグネス教会で行われます。

大阪教区関係教役者 9月逝去者記念聖餐式

9月8日(水) 10:30~

- 4日 執事 ラザロ 布施 好古 (1938年)
6日 主教 ヨハネ 名出 保太郎 (1945年)
9日 司祭 J.J.チャップマン (1946年)
11日 司祭 チャールズ・ハムデン・バジル・ウッド (1941)
12日 主教 ヘンリー・エヴィントン (1912英)
14日 宣教師 ドロシー・サローム・ワインウイilson (1963)
23日 主教 ペテロ 柳原 貞次郎 (1973年)
司祭 ドナルド・F・ウインズロー (2000)
25日 司祭 田中 正之助 (1927年)
27日 宣教師 エルシー・メイ・ペイカー (1977)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

受洗

西宮聖ペテロ教会(7月18日)

アンジェラ 花垣 葉
アンジェラ 花垣 葉

堅信

西宮聖ペテロ教会(7月18日)

アンジェラ 花垣 葉
アンジェラ 花垣 葉

逝去者

小浜聖ルカ教会 (5月14日)

フランシス 榎並 保純

堺聖テモテ教会 (6月29日)

テモテ 溝口 太郎

リベカ 倉本 保子

桃山基督教会 (6月30日)

ルツ 浦田 由起子

和歌山聖救主教会(7月3日)

ハンナ 青木 鈴子

高槻聖マリヤ教会(7月5日)

マルタ 中村 茂子

西宮聖ペテロ教会(7月19日)

パウロ 荒本 哲

東豊中聖ミカエル教会

ルカ 駒野 義男

ベニヤミン 松崎 汎邦

魂の平安をお祈りいたします。

主教巡回予定(9月)

●大阪

5日 川口基督教会

12日 堺聖テモテ教会

19日 大阪城南キリスト教会

26日 恵我之荘聖マタイ教会

創立記念礼拝

●京都

5日 八木基督教会

12日 東舞鶴聖パウロ教会

お詫びと訂正

○8月京都教区関係逝去者欄のタッカー主教の逝去日が間違っておりました。

9日(誤) ↓ 8日(正)

○町田獅嚙伝道師の逝去記念日が間違っておりまして。

8月5日(誤) ↓

3月1日(正)

○3頁学校紹介

平安女学校・高等学校(誤) ↓

平安女学院中学校・高等学校(正)

関係者の方々にお詫びし、訂正いたします。(編集部)